

No.149 2017 OCTOBER

平成29年10月20日発行



愛と復興

- 28年度決算を認定、課題も 2
- 7.18豪雨災害に補正予算 8
- 一般質問10名が町政をたずね 13

発行：只見町議会広報広聴常任委員会
〒968-0421 福島県南会津郡只見町大字只見字町下2591番地30
TEL.0241-82-5300 FAX.0241-82-5222
E-mail:gikai@town.tadami.lg.jp

議会だより

只見

百歳賀寿を
迎えて



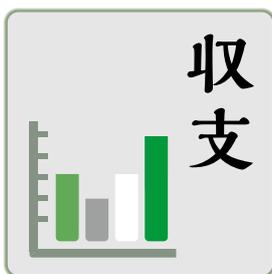
只見町議会中継は、只見町議会
ホームページから視聴できます。
←議会中継へ

あ ら ま し

9月会議が9月6日から15日まで開催され、平成28年度決算が認定されました。審査は、決算特別委員会により3日間集中審議が行なわれ、決算監査にあたった監査委員ほか、町長、副町長含む町当局説明員23名が出席し、主に事業効果などの視点から熱心な質疑が交わされました。本会議最終日の15日、決算特別委員長報告を行ない、追加議案、意見書を採択しました。

28年度決算を認定 「行・改」推進など課題

算査 決審



平成28年度の全13会計歳入歳出決算額は、歳入91億7530万円、歳出89億3630万円となり、歳入歳出とも前年度比減額決算となった。

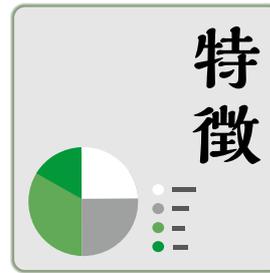


決算特別委員会の審議のようす

町監査・繰り越し事業に意見

決算特別委員会「行財政改革」求める

一般会計における実質収支は、1億4440万円の黒字で、内8000万円を基金に積み立て、6440万円を翌年に繰り越している。



監査委員決算審査報告書では、前年度からの繰り越し事業が32事業と多いことが指摘された。また、只見振興センター新築事業、奥会津学習センター整備事業がそれぞれ数億円規模で行なわれ、普通建設事業が前年度比83%の伸びとなったことを最大の特徴としている。

からの地方交付税は26億8900万円となり、前年より約2000万円増えたが、国の財政難の中で今後の推移が注視される。

町税は、軽自動車税が税率改正で増加したものの町民税、固定資産税の減収で全体では前年度比1.2%減収した。国庫支出金は、地方創生事業関係交付金で前年度比43%増加した。その財源は、亀岡サッカー場に併設されたサードバレーコート整備に主に充たされ、今後交流人口増が期待される。

歳出全体では、平成23年の豪雨災害復旧事業が終息したことにより災害復旧費が前年度比60%減少したことが大きな特徴となっている。

平成28年度各会計決算の議決状況表

(千円以下切り捨て)

会計名	歳入	歳出	議決内容	賛否	
				認定	不認定
一般会計	63億8152万円	61億7631万円	原案認定	9	1(山岸)
国民健康保険事業特別会計	6億1239万円	6億1211万円	原案認定	9	1(山岸)
国民健康保険施設特別会計	4億1603万円	4億1510万円	原案認定	10	0
後期高齢者医療特別会計	1億3414万円	1億3413万円	原案認定	9	1(山岸)
介護保険事業特別会計	7億16万円	6億8208万円	原案認定	9	1(山岸)
介護老人保健施設特別会計	2億5186万円	2億5186万円	原案認定	10	0
訪問看護ステーション特別会計	1193万円	1193万円	原案認定	10	0
地域包括支援センター特別会計	984万円	984万円	原案認定	10	0
簡易水道特別会計	2億4576万円	2億4567万円	原案認定	10	0
観光施設事業特別会計	3786万円	3786万円	原案認定	10	0
交流施設特別会計	5457万円	5457万円	原案認定	10	0
集落排水事業特別会計	3億88万円	3億79万円	原案認定	10	0
朝日財産区特別会計	1837万円	405万円	原案認定	10	0

決算特別委員会

質 疑 応 答

鳥獣駆除隊 なり手不足深刻

財政支援だけでは未解決

鳥獣駆除

問 町はよく実態を調査し対策を再考すべきだ。財政支援だけでなく検査の緩和なども検討できないか。

答 実情は警察へ申し上げたい。今後、広域での検討も必要と考えている。

中心市街地活性化事業

問 「町づくり会社」設立に至らなかったとあるが。

答 検討会を行なってきたが、目標に至らなかった。

成人式

問 就職相談とか、Uターンを強力に呼びかけるなど行なうべきでは。

答 その様な視点での成人式の充実は必要と感じた。十分検討したい。

只見線復興基金

問 上下分離方式での運営方針が決

定したが、今後の町負担が心配される。

答 利用促進は、町・県・団体連携で協議する。長い目での取り組みとなる。

公共施設総合管理計画

問 成果と今後の活かし方を問う。

答 既存施設利活用の一つの方針が出ている。

地域おこし協力隊

問 地域おこし協力隊の町の評価は。

答 評価している。今後定着している。

ただきたいと思っ

ているが、今の賃金が若干高いので、移行時の課

題も心配している。

ゴミの減量化

問 環境衛生組合の負担金増の原因には可燃ゴミの問題がある。今後の対策は。

答 6年前の災害後は負担金に大きく影響した。28年度は、前の年より増加している。今後の課題だ。

宿泊・飲食事業持続化支援

問 補助金の効果と実績は。

答 宿泊と飲食店で合計155の受け入れ枠が増えた。官民で受け入れ環境が整えられた。

治山工事

問 町の単独工事では再度壊れる可能性がある。県の治山に要望すべきでは。

答 県の治山も費用対効果が求められ、保全対象が少なく町で実施した。減災はできた。

只見産米食味向上

問 食味向上モデル事業の効果は。

答 食味値が28年度は前年より上昇したが、今年は全国レベルまで向上させたい。東京の卸業者からは一定の評価を得ている。



ゴミの減量にご協力を



新成人代表のあいさつ



町が運営する心志塾

公営塾

地域人材育成が狙い ——来年度最終形めざす

公営塾「心志塾」

問 公営塾の成果と今後は。

答 高校生の入試指導の一助になっている。単なる学力向上でなく地域を担う人材育成が狙い。来年度第3次改革で最終の在り方を目指す。

木材利用

問 木質バイオマス事業は、このまま継続しないと費用が無駄になる。今後の方向は。

答 有効利用が活用できず伐期を迎えている。会津全体の動きも注視しながら検討する。

エコパーク短編動画

問 今後のアクションが重要。作って終わりにしないで話題性を取っていくべき。

答 協力隊も参加し、宿泊の紹介も行ってPRに努める。

指定管理料

問 年々増加している。財政負担の軽減を図るべき。

答 公募方法の検討などで軽減を図っていく。田子倉レイクビュー含めて検討したい。

デジタル簡易無線機

問 導入効果はあったのか。

答 デジタル簡易無線機は衛星携帯電話に比べ天候に左右されない。7・18災害捜索活動でも効果が発揮できた。

2、3世代同居

改修補助

問 なぜ、28年度の評価をせずに29

年度中止したのか。

答 他の制度を検討する必要から29年度は中止した。主要施策報告書に記載しなかったのは申し訳ない。

いじめ問題

問 対策委員会ではどのような話し合いが行なわれているのか。

答 学校の先生方と定期的に会を開き情報共有している。現在いじめの報告はない。

教員住宅

問 先生の住宅環境は大事だ。今後の整備方針は。

答 不足の状況の中で民間協力で対応してきた。今後の少子化と先生の人数の中で考える必要がある。

決算特別委員会意見要約

本会議最終日、酒井右一決算特別委員長より委員会審査報告が行なわれ、賛成多数で採択、28年度決算が認定された。なお、意見の要約は下記の通り。

- (1) 政策的な補助金・負担金・委託料については、その効果と合理性を十分精査し執行にあたるなど「行・財政改革」に努められたい。
- (2) 組織的・横断的な政策連携が見られない支出が散見される。政策調整、事務調整を密に行ない、最少で最大の効果を得るよう努められたい。
- (3) 指定管理料の縮減をめざし、住民の福利厚生にいつそうの配慮に努められたい。
- (4) 各委員提案は、真摯に対応し、結果を速やかに示されたい。

監査意見要約

- (1) 繰り越し事業
FM局開設事業は、予算未執行で全額不用額として計上した。木質バイオマス関連事業は、次の段階への展開が難しい状況にある。これらは計画時の見通しの甘さが推察され、原因と今後の方針を明確に示すべき。
- (2) 事務処理
前年度と比べ改善も図られているが、公文書の作成に不適切が確認された。一層の文書取扱規定や財務規則などの遵守を求める。

正算 補予

一般会計補正予算（第4号）が可決されました。7・18豪雨災害の追加補正や例年9月会議に追加提案されるこの冬の除雪費は、今回の補正で例年通りの総額約1億5000万円となります。その他、明和小学校体育館補強設計委託料、青少年旅行村整備の設計委託料などが含まれます。

老朽化した旅行村の改修設計予算議決 「八十里越」開通で交流人口増狙う



青少年旅行村のキャンプサイト

平成29年度各会計補正予算（第4号）

会計名	補正額	賛否
一般会計	2億9580万円追加 総額56億9682万円	賛成 10 反対 0
国民健康保険事業 特別会計	300万円追加 総額5億8896万円	賛成 10 反対 0
介護保険事業 特別会計	57万円追加 総額7億8653万円	賛成 10 反対 0
交流施設特別会計 (湯ら里)	65万円追加 総額6365万円	賛成 10 反対 0

第4号補正予算 主な内容

(歳入)	金額
徴税（軽自動車税）	862万円
地方交付税（普通交付税確定）	2億9400万円
財産収入（山林売り払い）	373万円
(歳出)	
旅行村整備設計業務委託料	1980万円
町道除雪委託料	6120万円
空き家対策計画策定業務委託料	810万円
定住促進住宅実施設計委託料	800万円
明和小学校体育館補強設計委託料	215万円
農業用施設災害復旧工事	360万円
農地・農業用施設災害復旧補助金	2800万円
道路・河川災害復旧工事	2060万円

運営見通しに議論集中

「青少年旅行村」を中心とするアウトドア拠点整備基本計画が現在進められている。その計画に基づく改修設計予算1980万円が議決された。町は老朽化した施設

を再整備し交流人口のさらなる増を目指す。担当委員会での2日間わたる審査の後、本会議においても今後の運営・収支についての議論が集中、活発な質疑が交わされた。



青少年旅行村

Q 早期の運営計画を求める

A パートナー企業と協議開始

問 運営体制が最も重要だ。

答 三条市のアウトドアメーカー、(株)スノーピークと協議を始めている。

問 本来、実施設計は運営計画あつて組むものだ。

答 なるべく同時に進め提示したい。

問 旅行村周辺を含めた全体計画は、現在策定中の基本計画で示したい。

答 売り上げ見通しと同時に経費予測は。

問 今後スノーピークと詰める。委員会と逐次協議したいもともとは公の公共施設。住民利用の考え方は、収益事業だが、同時にもともと公共施設としての役割も重視していく。



- | | |
|---------|-----------|
| 1. 名称 | X線透視撮影装置 |
| 2. 契約方法 | 指名競争入札 |
| 3. 購入金額 | 2376万円 |
| 4. 購入相手 | 福島市 (株)三陽 |

医療検査に使われるX線透視撮影装置・画像診断システム更新のため入札が行なわれた。金額により契約内容を議会の議決に付すこ

とが定められているため、財産取得議案2議案が提案された。質疑では、X線透視装置について他の医療機関との比較で価格が高額との理由で反対意見も出されたが、賛成多数で可決した。

財産

朝日診療所 検査機器を更新



- | | |
|---------|------------|
| 1. 名称 | 画像診断システム1台 |
| 2. 契約方法 | 指名競争入札 |
| 3. 購入金額 | 1026万円 |
| 4. 購入相手 | 福島市 (株)三陽 |

陳情採択

天堂沢河川改修陳情 — 県に要望活動行なう

9月本会議最終日、経済文教常任委員会審査報告が行なわれ、黒谷区からの陳情が採択された。

平成28年5月に付託を受けて以来、現地調査を含め19回の委員会が開かれ、住民の安心を確保する視点から実現の可能性などが審議されてきた。

7月会議

7月18日から降り出した雨は、只見町で時間雨量88・5mmの観測史上最大を記録し、道路、河川、農作物等へ深刻な影響を及ぼしました。7月26日召集された議会には、農地・林道・河川などの当面の復旧予算を盛り込んだ29年度一般会計補正予算（第3号）が提案され全会一致で可決されました。

農地・林道・河川など当面の復旧予算
1億6000万円可決

松坂峠入口（布沢）



県道小林・館ノ川線（小川）



国道289号（叶津）

ダム放流の目安
常盤橋橋脚に水位表示を

今回の被災箇所は6年前の23年災と同じ個所が多く、従来の原形復旧ではなく、より強固な復旧の在り方を要望すべきだとする意見が相次いだ。

また、只見地区ではダムからの放流もあるため、常盤橋の橋脚に住民に分かりやすいような水位表示の設置が提案された。

平成29年7.18豪雨災害被害状況（8/10時点）

区分	か所数	被害額
町道	決壊等 24か所	3200万円
河川(町管理分)	土砂流出等 15か所	3170万円
林道	路面決壊等 83か所	3億8150万円
農地等	水田・水路等 163か所	7000万円
観光施設他	登山道、墓地等 5か所	620万円
農作物	水稲・トマト・エゴマ 88か所	645万円
合計		5億2785万円

耐震不足 2年間放置

住民説明なし、混乱の原因



明和公民館まつり

明和振興センター

住民・耐震補強に理解 同時に新築も要望

明和地区住民との懇談会が8月23日、明和振興センターで行なわれ、明和地区区長、自治振興会、婦人会、青年団代表などが出席、議員も9名が参加した。課題となっていた明

和振興センターの耐震不足の対応は、「耐震か、新築か」で住民と議会・町当局とで意見調整が行なわれてきたが、7月18日豪雨の際、住民の避難場所として機能できなかったこと

から、早く再使用できるように耐震工事への住民理解が得られる結果となった。また、建物が古く特に高齢者や障害者には使い勝手が悪いことや、建物を囲む三方が土手やがけで立地条件が悪いことから、将来に向けた新築の検討も要望として出され、今後住民の声を受け当局と協議検討していく。また、2年間、耐震不足を周知しない行政対応を問題視する声が上がった。



明和振興センターで開かれた懇談会

買い物弱者に支援を 買い物支援バス

明和地区の買い物支援バスは、県の補助事業の3か年を終え、今年アサヒホールディングスの支援で継続されている。しかし、次年度以降の支援がなく地域からは支援を求める声が上がりが議会には陳情も採択している。住民からは、添



買い物支援バス利用者 (このページの写真は明和振興センター提供)

意見書

9月会議で1件の意見書が提案され、採択された。

◎全国森林環境税の創設に関する意見書



委員会 レポート

総務厚生常任委員会

「過疎・高齢化対策」

視察研修 ― 宮城・岩手



宮城県丸森町役場での研修

8月2日～4日、宮城県丸森町、女川町、岩手県西和賀町に視察研修を行なった。

丸森町では、町営住宅や家賃補助により人材確保や定住促進を図っている。女川町では、子育て世代への負担軽減措置として地元高校へ通う定期券や下宿代の補助、さらに塾や習い事へも支援している。西和賀町では、若い女性の減少率が県内で最も高く、消滅の可能性が高い自治体とされた。そのため、「若年女

性が住みやすい西和賀町」をテーマとして女性だけのプロジェクトチームを設置しアンケート分析、ワークショップ、積極的な議論を重ねて提案書にまとめた。女性ならではのきめ細やかな提言書となっており、人口減少対策について総合的に推進するための専門部署を設置する事も提言された。

地域の実情を分析し特徴ある施策を講ずることが重要だと再認識した。

自衛隊誘致に係る陳情審査特別委員会

陳情者を参考人招致



参考人を招致した委員会

8月18日召集された委員会に、陳情者が参考人として招致され審査が行なわれた。

まず、参考人から自衛隊施設部隊誘致の必要性や陳情に至った経過などが述べられた後、各議員からの質疑があり、審査は約2時間に及んだ。

災害の多い会津にとってその必要性は大とする意見やユネスコエコパーク推進の中で慎重な意見も出されている。

経済文教常任委員会

県道小林・舘ノ川線

改良促進を県に要望

8月29日、「県道小林・舘ノ川線改良促進期成同盟会」による福島県に対する要望活動を行なった。

菅家町長はじめ齋藤議長、小川・熊倉・亀岡・小林の4区長にも参加していただき、南会津建設事務所、福島県土木部、そして鈴木副知事、県議会へ伺い、改良促進を要望した。

同時に、国道252号六十里越の春先早期再開通の要望活動に「六十里越雪わり街道を愛する会」の只見町会長、そして魚沼市の副会長も合流した。



副知事への要望



車のすれ違いが困難な小林外出地内

最大の難所小林・舘岡間の調査始まる

広報広聴常任委員会

ICT*化セミナー参加



*ICT…Information & Communication Technology (情報通信技術) の略

7月14日に郡山市内で開催された「タブレットから始まるICT化と開かれた議会」セミナーに参加した。近年、議会運営にタブレットPC等を導入し活用している議会が全国的に増えてつつある。当日は栃木市議会が具体的な導入事例を発表された。コスト削減や議会事務の軽減はもちろんのこと、広報広聴分野での効果も期待できる。

今後、広報広聴常任委員会を中心に導入へ向け検討を重ねていく。

表紙の写真

元気な町民 百歳賀寿を迎えて

塩ノ岐 目黒ミヤギさん

先月、百歳賀寿を迎えられたミヤギばあちゃん。広報の取材に伺ったのはお昼過ぎ。生い立ちからの苦難や前向きに生きる大切さをとくと教授いただき、はっと気づいたら時間はもう午後3時過ぎ。帰り際「日記」の話となり、今日の日記を書く様子をパシャリ。ますます長生きしてください。





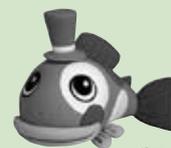
ブナりん

教えて! 議会のこと

Vol. 13



アカシヨウちゃん



イワっぺ

「決算認定制度」ってなあに?

只見町キャラクター ©Tadami

みんなに代わって只見町のキャラクターたちが聞いてくれました。



ブナりん

9月会議は、「決算議会」って聞いたことがあるけど、どういう意味なの?

議会議長

「決算」とは、予算に基づく収入と支出の結果を集計した計算書のことなんだよ。そして、予算を執行した結果、どの様な成果を上げたかを示す報告書なんだよ。

議会が決定した予算が適正に執行されたかどうかを審査する会議が「9月会議」なんだ。



イワっぺ

町長の「執行責任」と議会の「議決責任」ってなに?

議会議長

町長には、予算執行や事務処理に当たって、慎重に責任を持った財政運営が求められているんだ。

議会は、お金の使われ方に注意しながら、決算を「認定」する事によって、町長の執行責任、町の財政の実態を住民に向かって知らせる事ができるんだよ。



アカシヨウちゃん

簡単に「認定して終わり」ってできないね。

議会議長

「決算認定」を通じて、行政効果の客観的判断と今後の改善や反省事項の把握と活用が重要で、その結果を町の財政運営の一層の健全化と適正化に役立てることが重要なんだ。



ブナりん

税金の無駄遣いは、ダメだよね!

見てね!



只見町議会中継は、
只見町議会ホームページ
から視聴できます。



一般質問

- **大塚純一郎** 14
菅家町長が目指す町の将来像は、他
- **鈴木 征** 15
役場新築の進捗は、他
- **目黒仁也** 16
買物バス、まずは意向調査を、他
- **藤田 力** 17
新町下に排水機場の建設を、他
- **鈴木好行** 18
JR只見線再開通後の取り組みは、他
- **目黒道人** 19
世界ブナサミットはなぜやめたのか、他
- **山岸国夫** 20
介護保険料軽減対策は、他
- **中野大徳** 21
7.18被害田の対応は
- **佐藤孝義** 22
ユネスコエコパークの活用は、他
- **酒井右一** 23
機構改革後の振興センターの役割は、他

一般質問とは

議員が行政全般(役場の仕事全般)に対して、方針をただしたり政策の提言などを行なうことです。

町政を問う

この町を想い10名が

菅家町長が目指す町の将来像は

答 内部検討しながら取り組む



おおつかじゅんいちろう
大塚純一郎議員

問 菅家町政が誕生して8か月が経過した。町長が目指す「只見町の活性化」の進展状況を示せ。

答 先人から受け継がれてきた自然文化、歴史を育みながら、町民の皆様が誇りと愛着を持ち、持続可能な形で次世代に引き継いでいける町づくりを進めていく。町民が安心して暮らしていける施策を一つ一つ着実に進めていく。公正な行政と将来を見通した対話型の町づく

りを基本と考えている。当初予算に議決された「危険役場庁舎から旧只見中学校への一日も早い暫定移転」や「明和振興センターの耐震補強対策」など、速やかに遂行しなければならぬ事案が執行されていない。

答 役場庁舎の暫定移転については、内部検討が終了次第、議会に提案、協議をし、今年度内に移転を完了したい。明和振興センターの耐震補強対策については、平成30年頃までに工事終了したい。

問 今、町長のリーダーシップが問われている。明確な「只見町の将来像・ビジョン」を示し、優先課題を議会と徹底的に議論を重ねて、責任を持って政策実現することが求められている。

「若者定住政策」の確実な実行が、町が未来永劫、存続するために必要不可欠だ。議会と議論を重ねながら政策を着実に実行していきたい。

答 JR只見線の全線復旧が平成34年頃、国道289号八十里越の開通の時期が平成35年頃に予定されている。それらに向けて十分内部検討して事業展開をしたい。

問 「若者定住政策」の確実な実行が、町が未来永劫、存続するために必要不可欠だ。議会と議論を重ねながら政策を着実に実行していきたい。

「一生涯現役で活躍できる只見町」を目指し、「シルバー人材センター」の設立は急務である。現在の進展状況は。

シルバー人材センター 設立はいつ

答 今年11月1日を予定

問 「一生涯現役で活躍できる只見町」を目指し、「シルバー人材センター」の設立は急務である。現在の進展状況は。

答 社会福祉協議会が中心となり、平成29年度開始分、第3次募集に係るヒアリングを受けて設立を目指している。今年度の事業開始が11月1日を予定している。



暫定移転が急がれる役場現庁舎

役場新築の進捗は

答 新築は現在示せる段階ではない

問

現在の新庁舎と旧只見中学校への暫定移転が進められているが、新築については、町長は就任時に「身の丈にあった庁舎建設を進める」と表明していた。現在の進捗状況は。

答

平成22年度に現庁舎の同一敷地内に新築する方針を適当とした町地域計画審議会からの答申を受け、

平成23年度に基本計画策定に着手し、平成27年度には新築工事の入札を執行したが、残念ながら不発、不調となった。

現在は現庁舎からの暫定移転を進めており、新築の進捗状況を示せる段階ではない。暫定移転後に、議会と協議しながら慎重に検討する。

問

明和振興センターは耐震診断でDランクの結果を受けて、町長は平成29年度予算に耐震改修に向けた設計委託予算を計上

答

7月18日の豪雨災害の際、明和振興センターのうち旧

し、議会は議決した。しかし、6月の全員協議会で、町長より新築に向けた新たな提案が示された。現在、どのような考えで明和振興センターを整備しようとしているのか。



すずき すすむ 鈴木 征 議員



耐震診断Dランクの明和振興センター

県税の減収に伴う町の影響は

答 町内企業の決算状況を注視する

問

県税の減収に伴う町の影響は。

答

町の法人町民税における予算編成については、法人税割の変動が大きいことから、過去8カ年平均実績の65%程度を見込み、当初予算においては、ほぼ前年度並みの計上をしている。また、調定額は、8月末現在で昨年度より増加しているが、今後、町内企業の決算状況により変動するため、引き続き注視していく。

明和公民館部分が避難所として使用できなかったため、明和地区の避難所の早急な確保の重要性を痛感した。災害時はもとより平常時における住民の安全安心な生活の確保のため、

1日も早く住民が安心して使える施設の確保が重要なことから、耐震改修を進める。また、新築については、今後議会と協議の上進めたい。

買物バス まずは意向調査を

答 生活実態調査を実施したい



目黒仁也議員

問 第七次振興計画に掲載された、高齢者の買い物支援対策の今後の見通しについて、町長の考えを聞こう。

答 町として支援の枠組みは必要と考えており、「地域づくり交付金」を3振興センターに予算配分しているのですが、それらを活用しながら住民の暮らしが利便になるよう努めたい。

問 地域づくり交付金は、もともと地域の団体や集落の活性化支援の財源だ。地

域枠」のような別枠で交付されるなら分かるが、現在の交付金の枠でやれというのは理解できない。町が政策として立ちあげていくべきだ。そのために、3地区の生活実態調査を住民にお願いしてやってみてはどうか、提案する。まずは住民の意向、実態をつかむべきだ。

答 その必要性は理解できる。実施したいと思う。



暫定移転先として検討される旧只見中学校

暫定移転 議会と正面から議論を

答 議会の意向踏まえ検討している

問 行政の本丸となる役場庁舎機能の整備は当面の最重要課題だ。暫定移転の概要がいまだ分からない。

答 現在の本庁舎に隣接する新庁舎と旧只見中学校を活用

することで検討を進めている。今後は、新庁舎と旧只見中の改修に向け協議したい。

問 庁舎暫定移転問題は、議会と当局で移転の在り方に食い違いがある。そうであるなら議会と正面から議論する機会を作っていくべきだ。何の協議もないのが問題だ。

答 内部検討では、議会の考えも理解しそれを踏まえて検討している。今後協議の場を持ちたい。

問 まずは、今ある予算をどう使っていくか。工程を含めた考えを協議する考えはあるか。その後に改

答 修予算の協議だ。そのような順序で進めたいと思う。

問 過去に失った1.2億円、以前一般質問答弁で原因検証を引き続き行なうと答弁されているが、その後は

答 内部検討では方針を出し対応した。

問 検討結果は、議会に報告されるのか。

答 早い時期に報告したいと考えている。

問 具体的な時期はいつ頃か。

答 年内には報告したい。

新町下に排水機場の建設を

答 国・県にしっかりと要望したい

問 只見の沖・新屋敷・新町下は、6

年前の新潟・福島豪雨の時、農地や住宅、町営住宅、保養センターなどに甚大な洪水被害を受けた。今年も7月4日、18日と2回も洪水被害が発生した。町が設置した新町排水ポンプは、町民は「役に立たない」というが、町ではどう評価しているか。

答 このポンプは、只見川からのバックウォーターを防止し被害を最少に抑えるのが目的で、初期の目的は達成している。今回は、排水の水位を50センチ下げて設定したので、今までより低水位で稼働するよう整備した。

問 河川を整備する只見川圏域河川整備計画が金山町では着工された。県は、只

見地区での説明会をいつやり、いつ頃から工事に入るのか。

答 県に問い合わせたところ、平成29年から詳細設計に入る。今現在では、説明会や着工時期は決定していない。

問 洪水は、ダムからの放流がある

と被害が大きくなる。沖と新町の排水を繋ぎ、只見川近くに大規模な排水施設（排水機場）を建設することを提案したい。ただし、河川法との関連や大きな工事となるため、只見川圏域河川整備計画に入れて整備してもらおう、国・県に強く要望すべきと提案する。

答 近年、全国的に頻発する記録的

短時間大雨による集中豪雨災害には、現有施設では対応できないと想定される。今後、沖・新屋敷・新町地区の災害時の内水対策工事にもしっかりと国県に要望する。

夏休みラジオ体操の中止はなぜ

答 町民からの様々な意見がある

問 広報無線は町民らの連絡や災害時の避難勧告など町民の安全を守るため、重要な施設だ。最近、ラジオ体操や2回放送の中止など町民の不満も多い。中止までの経過

は。

答 町民の働き方が従来と変わり、

夜間に働き、朝方から就寝される人も多くなり、多くの意見が寄せられる。健全育成町民会議で2年間検討した結果、現行方式に変更した。定時放送は、朝は6時50分、夜は7時30分に決めている。



洪水被害となった新町下地区（29年7月18日）

ちから 田 議員
た 藤
ふじ



JR只見線再開通後の取り組みは

答 県と連携し、効果的な利活用を



議員 好行 鈴木

問 再開通へ向けて具体的な施策は何か。

答 利用促進のための町内団体への補助、パンフレット・PRグッズの作成、ラッピング列車の運行などがある。

問 乗客数を増やすための取り組みは。

答 乗って楽しむことに焦点を当てた「車窓のガイドブック」を作製し、只見線の魅力を紹介する。車窓から見える景色の整備も必

問 景色の整備も必

要ではないか。

答 観光スポットとなり得る所を地図で落とし、整備を検討していく。

問 鉄道写真家へ向けての施策は。

答 鉄道写真家による情報発信は有効なものであると認識しており、観光まちづくり協会等と連携しない。

から、只見線の魅力を発信したいと考えている。また、撮影スポット等の整備も検討したい。

問 再開通後に発生する約2000万円の町負担は何で補うか。

答 基金の積み立てと寄付で補いたい。

国道289号開通に向けての施策は

答 三条市と連携し、新たな取り組みを

問 開通に向けて現在行なっている具体的施策は何か。

答 昨年度「三条市・只見町連携戦略会議」を立ち上げ、本年度は「観光・経済・文化」と「生活基盤」の部会を設け、第1回

の部会を設け、第1回

会議を開催する。様々な情報を共有しながら新たな取り組みを検討していく。

問 「道の駅」整備計画は。

答 平成35年の開通を見据え、その1年か2年前には整備

したい。

問 今から運営母体・町民への理解・建設プロジェクトの発足等を進めて行かなければならない。具体的な検討計画はいつからか。

答 来年度の実施計画の中で基本構想の検討に入る。

問 再開後は、地域をどのように捉え、そのために何をやるか。

答 開通後は、地域をどのよう捉え、そのために何をやるか。開通後は、地域の活性化に大きく寄与することが期待される。「三条市・只見町連携戦略会議」の結果等を共有し、議会と一緒に検討を進めて行きたい。



再開通を待つ只見線

世界ブナサミットはなぜやめたのか

答 エコパークに登録し、目的を達成

問 自然首都宣言から10年が経とう

としている。世界ブナサミットは只見でしか開催できない価値ある取り組みと考えるが、なぜやめてしまったのか。

答 世界各国の研究者を招聘して国内有数のブナ林をもつ只見町を国内外に発信



とみち黒道人議員

する絶好の機会と捉えて実施された。京都大学の河野名誉教授の企画・運営・人脈のもと開催され、その後のユネスコエコパークに向けた動きにつながった。

平成26年の登録という大きな成果に結びつき、目的を達成したものと考えている。

問 世界ブナサミットは休んでいるのか、終わっているのか、どちらか。

答 終わったということだ。

問 それはとても残念に思う。只見独自の取り組みであり、

ユネスコエコパークに登録されたのはこういった取り組みがあつてこそと考えている。来年は自然首都宣言から10年の節目である。この機会を捉えて開催してはどうか。

答 申し上げますように河野教授のご

尽力によって実施されていたが、世界各国から研究者を招聘できたのは河野先生の人脈によつて開催できたところが大きい。今からの



平成17年、20年に開催された「世界ブナ・サミット」

災害復旧に一步踏み込んだ対策を

答 県と協議する

準備では厳しいのではと感じている。

問 例えば、只見線は復旧後もなにもしなければ全線で廃線になってしまうかもしれない。エコパーク

についても同様であり、ブナサミットで存在感を示してはどうか。

答 ブナサミットとは違う形だが、学術調査の報告会などを予定している。

策を求めたい。

答 原形復旧の対応には問題がある

と認識しているが、制度的に難しいところがある。県と協議していきたい。

問 被害箇所は農地であるが、原因は山から出た水ではないか。治山の対策はどうか。

答 治山対策は人家のあるところを優先して県に要望している。

他に田子倉湖遊覧船の整備遅れについて質問した。

問 去る7月18日の大雨により被害にあった箇所は6年前の災害と同じ箇所だった。原形復旧ばかりでなく一步踏み込んだ対



やまぎしくに お 山岸国夫議員

介護保険料軽減対策は

答 国の動向踏まえ検討

問

来年度から第7期介護保険料

(3年間)の改定が行なわれるが、町民生活を守るために、町の裁量で一般会計から繰り入れを行ない、最低でもこれまでの保険料を維持すること、また、低所得者の保険料を基準額から所得に応じ7割、5割、3割軽減することを提案する。

答

第7期計画は、消費税10%を前提とした軽減強化については必要と考えている。減額は国の動向を踏まえ検討する。

問

介護保険料の保険者の負担が多額となるのは、国が必要額の25%しか負担していないことにある。町長は様々な機会に国に対して、町民の負担軽減のために国の負担額を増やすよう働きかけをすべき。

答

全国の地方自治体と一緒に、た中で要求していく。

問

介護保険料は平成15年第2期の月2943円から現在の4810円と12年間で約1900円値上げとなっている。国の全国集計では平成24年と平成27年の比較で10・9%増、平成37年には64・2%増となる試算を示している。

あさひヶ丘のデイサービスでゲームを楽しむお年寄り



あさひヶ丘のデイサービスでゲームを楽しむお年寄り

問

昨年も提案したが、福祉商品券(福祉灯油)の復活と制

福祉商品券(福祉灯油)の制度化を

る。只見町は、平成24年と平成27年比で12・1%増と全国平均より高くなっている。介護保険料が多額になり、介

答

護保険利用料負担も大きい。町民の負担軽減対策をとるべき。近年介護認定者増で需用費増と

答 今後の動向踏まえ判断

度化することを求める。この制度は町民から大変喜ばれている。お年寄りが寒い冬を暖かく過ごすために町が手だてをとることは、福祉施策として、また健康を維持していく上でも大切な施策である。補正予算に計上する考え

は。

答

燃料高騰による支援から始まった経過を考え、最近の燃料価格は従前と比較し落ち着いている。今後の動向を踏まえ判断

問

65歳以上の住民税非課税者は825人おられる。これまでの予算額は450万円程度であった。町民は期待している。灯油の高騰にかかわらず福祉政策として対応すべき。

答

灯油価格の状況を見てその時点で判断する。

他に「教育勸語」を学校教育に持ち込まないことについて質問した。

7・18被害田の対応は

答 激甚に指定、集落負担課さない

問 土砂流出による被害田の復旧計画は。

答 従来の災害時の対応としては、町単独災害復旧工事や公共事業補助金により対応しており、通常の場合は集落負担が発生する。今回の災害については、被害箇所が広範囲にわたっている。時間雨量が観測史上最大の降水量となり全町

答 今後、人家に影響があるところから要望していく。熊倉地区など特定にやられているところについては、非農用地に変えていくとか、沼田原地区については、山手に農道を入れていくとか、町が独自でやる場合は

問 そういった事が考えられる。天候不順（長雨）による日照不足）による農産物の対応は。

答 現在、JA等から情報収集を進めている。米については1週間から10日程度の遅れ、トマトについては昨年比6割程度の出荷量にとどまっている。花卉についても花つきが悪く出荷量が減っている。さらには、それぞれ病気発生懸念も抱えている。今後の天候次第では生産量・販売額ともにある程度回復する期待もあり、今後の気象状況を注視している。

問 今後の復旧計画の工程は。

答 集落に協力をお願いし、稲刈り後の田んぼの土砂廃土の予定を進める。詳しい事はこれからになる。

問 来年度作付可能か。

答 業者も公共事業、土木災等の発注が多くなる。事業者と調整を図りながら対応していく。

問 土砂流入田は平成23年と同様の場所で発生している。



土砂流入した只見沼田原地区の水田



なかのたかのり
中野大徳議員

ユネスコエコパークの活用は



議長 高橋 孝 議員 佐藤 孝

答 組織を見直し、これから検討

問 自然保護と林業・水産資源の活用は。

答 バランスを図りながら調査・研究し、枯渇しないように持続的活用を図る。

問 農産物の付加価値化と販売方法は。

答 素晴らしい自然環境をPRして付加価値を高めていく。

問 観光産業にどう結び付けるのか。

答 調査研究で立証された豊かな自然・歴史・文化のPRと案内人の活用等で交

流人口の拡大を図る。

問 ユネスコエコパーク関連事業等に対する人員体制が不十分ではないのか、28年度事業の課題・問題点が生かされていないのでは。また町長自身何をどのようにやりた

答 専門家の意見を聞き、来年度は、各層の改革を含め組織の見直しをしていく。何をしたいかについては、これから考えていきたい。



明和保育所運動会の子どもたち

教育政策の今後の考えは

答 今後のあり方を検討する時期

問 3地区の小学校統合はあるのか。保育所も同様に統合はあるのか。

答 昨年度設置した「町立小学校の在り方検討懇談会」で小学校の教育活動全般に渡りその成果と課題を話し合い、今後の改善案等を提案していた

だいている。統合の是非を検討しているものではなく、町民各位より広く意見を募っているものであり、現状で統合について判断できる状況にはない。

保育所については、送迎時間など保護者負担の課題があり、今後のあり方について内部検討しなければならぬ時期を迎えていると感じている。

町立小・中学校全校がユネスコスクールの認定を受けた。大変すばらしいことだと思う。前にも提案したが、留学制度の交流等を見据えた、小学校からの英語教育が必須だと思うがどうか。

答 ユネスコスクールはユネスコエコパークを担っていくことができる人材を育てるのが目的であり、当町では、来年から2年前倒ししてALTを増員して小学校を担当させる。

問 県立只見高校の支援策をいつまで継続して行くのか。

答 只見高校の存続はもとより、人材の地産地消や町づくりという重要な視点に立ち、議会並びに町民の理解のもと継続的に

他に町内企業への支援策について質問した。



さか い ゆう いち
酒井右一議員

機構改革後の 振興センターの役割は

答 今後も現行の機能を維持する

問

地域や集落の維持について、集落の力では解決できない限界を感じる。また、役場と集落の間の「住み分け」の矛盾もある。例えば、集落等に補助金を出して、本来、役場が行なうべき仕事を肩代わりさせることがあれば、団体自治の責任放棄ではないか。

明和自治振興会は、この件について非常に重い問いかけをしていると思う。なぜ、明和自治振興会が「公共交通の維持」に責任を持たなければならないのか。一方、なぜ、町民から税金を集めて行政を行なう役場が、「住民の足」に責任をもって寄与できないのか。住民自治の仕事と、団体自治の仕事とはき違えてはいないか。行政サービスは納税義務に対する反対給付である。

答 振興センターには各地区の公平性と独自性の両立という調整課題はあるが、今後も現行の機能を維

只見温泉の 再掘削の考えは

答 良案を求め議会と協議したい

持していく。明和地区の買物支援バスは、従来、町から離れ、地域独自で続けられた事業だが、その後、町に財政支援を求められた。町の公共交通と地域全体のバランスを保つという課題もあるので即答を避けた。

問

国道289号開通については、開通後のデメリットについて懸念している。交通安全や騒音、防犯対策、入会権の保護、ストロー現象など課題が多くある。只見は通過するだけの地域にならないか。通過する「人・もの・金」を滞留させるために、只見温泉を再掘削する考えはないか。

答

デメリットに對しては適切に對処する。温泉開發に對しては多額な資金が必要になる。開發に當たつては慎重に對処していきたい。良案を求め議会と協議しながら進めたい。

他に、人口減少問題について質問した。



温泉開発を待つ観光施設

地域が一丸となる行事

只見中学校3年
ほり かね ふう か
堀 金 楓 樺

9月17日に町民運動会がありました。私は小学生のころから参加しています。町の祭礼のほかに

地区で集まれるのは町民運動会だけなので、とても貴重で、皆さんとの絆を深めるよい機会だと思っています。地区対抗ですが、競技が進むにつれて勝ち負けも意識しなくなり、参加者全員で楽しんでいます。

でも、最近は参加者が減っているように思います。せっかくの機会なので、たくさんの方に参加していただき、町民みんなのふれあいを深められればいいと思います。

これからの只見町

只見中学校2年
さか い か なえ
酒 井 香 苗

只見町の好きなのは、自然が豊かなところと、町民の方が優しくて温かいところです。とくに、たくさんあるブナの木を利用して発展していけばよいと思います。

たとえば、木と木の間を一本のロープを使って行き来するアトラクションを作ったり、木に登ったりできる場所を作れば、子ども連れの家族も来てくださると思います。

只見に来た人がストレスや悩みを忘れ、広い青空と大きく伸びるブナのように、優しい気持ちや温かい気持ちになってほしいです。

只見に来た人がストレスや悩みを忘れ、広い青空と大きく伸びるブナのように、優しい気持ちや温かい気持ちになってほしいです。

議会報告会を開催します！

10月24日(火) 只見振興センター
10月25日(水) 朝日振興センター
10月26日(木) 明和振興センター
午後7時から午後8時30分
町民との意見交換も行ないます。
ぜひ来てけやれ!

編集後記

7月18日の豪雨災害、その後も天候不順が続き、町民にとって厳しい夏となってしまいました。被害にあわれた皆様には心からお見舞い申し上げます。

我々議員はこんな時こそ皆様の声を町政に届けなければなりません。どんな意見でも構いません。私たちに声をお聞かせください。

近いうちに議会報告会を予定しています。気軽に参加してみませんか。

(鈴木好行委員)

発行責任者

議長 齋藤邦夫

広報広聴常任委員会

委員長 目黒仁也

副委員長 目黒道人

委員 大塚純一郎

委員 中野大徳

委員 山岸国夫

委員 鈴木好行